

## 消費者の視点からの疑問点

2023年1月27日 消費者庁

- 公共料金審査に際しては、消費者の理解と納得を十分に得られるようにすることが必要。
- このため、以下のとおり、消費者の視点からの疑問点を提示するので、疑問点の解消に向けて対応いただきたい。  
(まずは大枠としての総論を示すものであり、今後も疑問点の追加等を検討)

## &lt;総論&gt;

## 需要/供給 電力量の見込み

- 需要電力量及び供給電力量の想定は、合理的なものとなっているか、根拠も含めて分かりやすく説明。(料金設定の根幹)  
例えば、節電見込みの影響や、電源構成の変動等の反映はどのように行われているかなど。

## 直近実績の評価とコスト効率化

- 各申請事業者の原価算定の適正性を判断するベースとなる、直近の実績（現行原価の現状）について、コスト効率化の取組を評価し、各費用項目の適正性や原価や料金への定量的な効果を説明。
- また、直近実績の評価を踏まえて、これまでのコスト効率化の取組の継続又はより一層の取組が、原価や料金に与える影響も含めて説明。

## &lt;各論&gt;

## 燃料費や購入電力料

- 過去実績を申請原価の見込みに用いている場合は、直近の実績として、燃料費、購入電力料の単価引下げの努力は徹底されているか。
- 申請原価に見込まれている燃料費、購入電力料のコスト最適化（調達先の選定や発電効率など）は、具体的にどのように図られているか。

## 人件費

- 政府が進める成長と分配の好循環の実現のため、公共料金とはいえ、人への投資の観点から、賃上げをどう見込むかも重要な視点である。(1/11 料金制度専門会合にて提示済)